

Topics

トピックス

「中小機構インキュベーション事業 ～東大柏ベンチャープラザ～の取り組み」



独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部
地域振興部 支援拠点サポート課 課長代理

佐本 由紀子

＜がんの早期発見に挑むベンチャー企業＞

昨年12月、テレビ東京「ガイアの夜明け」で、がんの一次スクリーニングに取り組むベンチャー企業が特集された。そこで大きく取り上げられたベンチャー企業は、中小企業基盤整備機構（以下、中小機構という。）が運営するインキュベーション施設である東大柏ベンチャープラザに入居している「**株HIROTSU**バイオサイエンス」だ。同社は、体長わずか1ミリの線虫の特性である匂いセンサーに着目し、それをがんの早期発見に繋げようとしている。東大柏ベンチャープラザ内にある当社の中央研究所では、がんスクリーニング検査『N-NOSE』の効率化を研究開発するとともに、がん種特定、ステージ判定をするための研究開発も行なっている。私たちが自身のがんを発見するには検査が必要だが、時間やコストがかかる、人によっては痛みを伴う等億劫な面もある。しかし、同社の方法は、受検者の尿一滴を使用し線虫で判定を可能にするというもので、まさに低コストで痛みを伴わないがん判定である。また、早期がんの検出ができるというメリットもある。ステージ1期で発見できれば、10年後生存率は80.6%（国立がん研究センター出所）と言われており、早期実用化が望まれる。**株HIROTSU**バイオサイエンスでは2020年の実用化を目指している。



わずか体長1ミリの線虫「*C. elegans*」

＜中小企業基盤整備機構＞

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的かつ中核的な実施機関として、全国の中小企業への支援をトータルで行う経済産業省所管の独立行政法人だ。全国9ヶ所の地域本部を拠点として、起業・創業期から成長期、熟成期と企業が成長していく中で、生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、その他経営面での助言、情報提供、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援を実施している。最近ではAIなどを活用した相談・情報提供、国内外の販路拡大にむけたオンラインマッチングなどにも力を入れている。

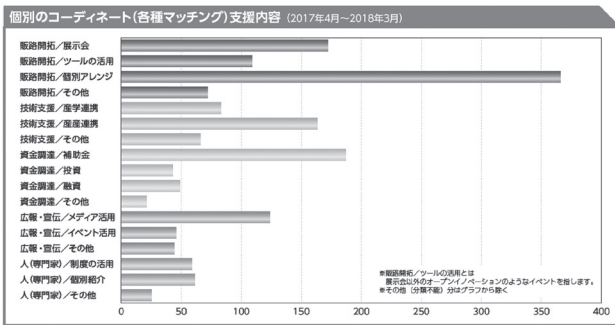
Be a Great Small.
中小機構

2019年1月よりロゴを一新

＜インキュベーション事業＞

起業・創業支援のひとつとして、全国29か所にインキュベーション施設を設置し、ベンチャー企業や第二創業の事業化支援を展開している。現在、500社以上の企業の皆様に入居いただいております。その業種は、医薬・バイオ・アグリ系32%、電子・機械関連32%、情報・通信関係16%（2018年3月時点）と様々であるが、中小機構のなかでも、これほど医療・バイオ系企業を支援している事業は他にない。

い。2017年度に実施した企業個別支援も多岐に渡り、販路開拓支援では個別企業毎にアレンジした企業間マッチング、資金調達支援では補助金関連、技術支援では産産連携がそれぞれ上位となっている。また、各施設では、ベンチャーキャピタルと連携したスタートアップ支援や起業支援としてアクセラレータプログラムを展開するなど、特色を持たせた施設運営を展開している。



関東エリアでは、東京大学、千葉大学、慶應義塾大学、東京工業大学、東京農工大学、理化学研究所等と連携した施設を千葉県3、東京1、神奈川2、埼玉1、浜松1の計8か所に設置し、支援を展開している。医療・バイオ系企業が多く入居する施設や診断薬系、IT系、ものづくり系企業が多い施設などそれぞれ特色のある施設となっている。今回、個別施設の取組みとして、千葉県内にある東大柏ベンチャープラザの取組みを紹介する。

中小機構関東のインキュベーション施設

(2019年1月現在)

施設名	所在地	入居企業の主な業種
東大柏ベンチャープラザ	千葉県柏市	医療・バイオ・素材
千葉大亥鼻イノベーションプラザ	千葉県千葉市	ライフサイエンス
ベンチャープラザ船橋	千葉県船橋市	IT・化学・検査機器
和光理研インキュベーションプラザ	埼玉県和光市	レーザー技術・バイオ・IT
農工大・多摩小金井ベンチャーポート	東京都小金井市	バイオ・素材・AI
慶應藤沢イノベーションビル	神奈川県藤沢市	ロボット関連・機械装置
東工大横浜ベンチャープラザ	神奈川県横浜市	ものづくり・IT・素材
浜松イノベーションキューブ	静岡県浜松市	光応用技術・IT・電子機器

<東大柏ベンチャープラザ>

東大柏ベンチャープラザは、中小機構が千葉県及び柏市より事業要請を受け東京大学と基本合意書を交わし、2004年に設置したバイオ実験(P2レベル可)や大規模装置の設置を可能とするインキュベーション施設である。中小機構、県及び市から

派遣されたインキュベーションマネージャーが施設に常勤し、経営相談やマッチングなどを伴走型支援で行っている。



東大柏ベンチャープラザ(千葉県柏市)

施設が立地する柏の葉地区は、千葉県北西部に位置し、都心まで30分と人気のエリアである。2005年につくばエクスプレスが開通し、2008年に千葉県、柏市、東京大学、千葉大学、三井不動産等による柏の葉国際キャンパスタウン構想が策定され、公・民・学連携による「環境共生」「健康未来」「新産業創造」の都市づくりが始まった。今では子育て世代を中心に人気のエリアとなっている。また、つくばエクスプレス沿線には、産業技術総合研究所、東京大学、千葉大学、東京理科大学、筑波大学、国立がん研究センター東病院、東葛テクノプラザ、TXアントレプレナーパートナーズなど多くの学術研究機関や支援機関が集積している。



柏の葉エリア

東京大学柏キャンパスでは『つくば-柏-本郷イノベーションコリドー構想』に沿った、産総研人工知能グローバル拠点や産学官連携施設などの柏IIキャンパス整備計画が進み、また、国立がん研究センター東病院では、革新的な医療機器開発を推進するためのNEXT医療機器開発センターを開設するなど、イノベーションの創出に向けた動きも活発化している。

東大柏ベンチャープラザでは、これまで、入居企業や地域企業の支援を業務の中核に据え、産学連携・大企業連携・医工連携などを実施してきたが、最近ではこれらに加えて、地域におけるイノベーション活動の活性化と新産業創造の動きに寄与することを目指す新たな取組みも行っている。2018年からは、国立がん研究センター東病院、TXアントレプレナーパートナーズ、三井不動産と連携し、医療機器分野でのベンチャー・エコシステムの構築を目指す取組みを開始した。ベンチャー・エコシステムとは、米国のシリコンバレーで見られるような、地域の起業家・起業支援者・大企業・研究機関・金融機関・公的機関などが連携してベンチャーを輩出することで

優れた人材・技術・資金を呼び込み発展を続ける仕組みをいう。この取組みを契機に、最先端の医療提供を目指す医療機関と革新的な技術シーズを持つベンチャーとが出会い、事業化に向けた複数の共同研究・共同開発が始まろうとしている。今後は、引き続き出合いを促進するとともに、関係機関と連携して事業化の成功事例を創出し、更なる発展に寄与する好循環の実現に努めていく。併せて、医療機器だけでなく、創薬を含むライフサイエンス全般や、AI/IoT、新素材など、地域の大学や研究機関が強みを有する技術領域へと、ベンチャー輩出に向けた地域連携を拡充することを視野に入れている。このような地域の取組みに積極的に参画することで、入居企業のビジネスチャンスの拡充とインキュベーション施設としての魅力向上にも貢献できるものと考えている。

<最後に>

東大柏ベンチャープラザでは、平成28年度より千葉商科大学商経学部の経営診断ゼミの受け入れを行なっている。学んでいるのは、未来の経営者候補や中小企業診断士を目指す学生たちであり、楽しみにしている出合いのひとつだ。今回、そのご縁で執筆の機会をいただいたことに感謝を申し上げたい。



千葉商科大学経営診断ゼミ受け入れ

時代の変化は早く、経営者だけでなく支援する側も先を読む力が求められている。また、成長が見込まれる企業は、自社で動かなくとも支援者側から支援の申し出がくる時代である。柏の葉地区をはじめとする日本の活性化のため、そして、企業や地域の皆様から必要とされるよう、支援者である私たちも日々成長し業務に取り組んでいきたい。

第2回
メディカルデバイス
イノベーション in 柏の葉

参加費無料
聴講料 聴講料
のみ2,000円

2018年
12月4日 (火)
15:00~19:30 (14:30受付開始)

会場：柏の葉カンファレンスホール
ルーム5-6

柏の葉をシリコンバレーに
つくば-柏-本郷イノベーションコリドーの中核に位置し、わが国最先端の研究開発の集積が期待される。この柏の葉に国立がん研究センター東病院を併せた医療・機器イノベーションのエコシステム構築を目指します。
【対象領域】 予防、検査、診断、治療、終末期医療
院内AI/IoT化・ソフトウェア・IoT/AI、産学官と

プログラム

15:00-15:10 主催者挨拶
(国立がん研究センター東病院、中小企業基盤整備機構理事 榎本 浩)

15:10-16:50 第一部：講演 (各20分)

【講演1】 柏の葉のベンチャー支援エコシステムの構築
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ
主催者/代表理事 藤田 晋吾

【講演2】 日本製薬産業のイノベーションの可能性
株式会社日本製薬株式会社
事業開発シニアディレクター 野口 昌亮

【講演3】 シリコンバレーの医療機器エコシステムと日本の現状
MedVenture Partners株式会社
代表取締役社長 大下 直

【講演4】 医療機器開発をめぐる動向とAMEDの取組
国立がん研究センター 日本製薬研究開発機構
研究開発部長 藤田 晋吾

【講演5】 NEXTからの内閣府連携・産学官連携
国立がん研究センター 国立がん研究センター東病院
NEXT医療機器開発センター
内閣府連携開発部長 矢野 友雄

16:50-17:00 休憩

17:00-17:50 第二部：ショートプレゼン (各3分)
医療機器ベンチャー企業・プレゼンテーション (10-15社予定)

17:50-18:00 休憩

18:00-19:30 懇談会・名刺交換会

お問い合わせ先：東大柏ベンチャープラザ
04-7136-8815 kv-info@amrd.jp

参加申込
一般参加 (聴講会、不参加) 無料 ※要申込
一般参加 (聴講会、聴講) 2,000円/人 ※要申込

参加申し込みは、下記URLまたはQRコードより、イベント申込フォームへアクセスしてください。
なお、聴講会ご参加の場合、会場は定員にてお申し込みを断ります。
<https://goo.gl/forms/4cY0sqz2KSQ9u893>

定員 150名、定員に達し次第締め切ります。

主催 国立がん研究センター東病院
中小企業基盤整備機構 関東本部
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ

後援 厚労省、経済産業省、千葉県、柏市、(中略) 千葉県産業振興センター

協賛 三井不動産株式会社、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (I.I.N.K.)

「メディカルデバイスイノベーションin柏の葉」交流会